

平成28年度 新潟県書き初め大会

県知事賞受賞喜びの声 佐藤綾音さん

私が校長先生から受賞の話を聞いた時は、「名前誰かと間違えたんじゃない!？」と半信半疑でした。ですが、学校の先生方から、「おめでとう!」と言ってもらい、だんだん「あー、本当に県知事賞とったんだな」と実感して、とてもうれしかったです。「希望の春」という字で私が苦戦したのが、「希」の1画目です。少しの力加減で字のバランスが変わるので大変でした。ですが最後は、納得のいく作品ができ、その作品が賞に選ばれたので、とてもうれしかったです。6年生最後のとてもいい思い出になりました。

平成28年度新潟県書き初め大会において、佐藤綾音さん（朴坂）が競書大会に続き、小学生で最高となる新潟県知事賞を受賞しました。その表彰式が2月26日に新潟県立近代美術館で開催され、受賞した佐藤さんが表彰を受けました。

また、準特選には6作品が選ばれました。受賞されたみなさんおめでとうございます。*敬称略

◆主催 新潟県書道教育研究会

◆応募数 県内の小・中学校から27,670点
(小学校25,258点 中学校2,412点)



6年・荒川台
長谷川あかり



6年・上関
渡邊一葉



6年・下関
佐藤にこ



4年・下関
石田夢来



3年・朴坂
佐藤汰一



3年・勝蔵
船山優心

準
特
選

県との相互派遣人事交流を終えて

村では初めてとなる新潟県との相互派遣人事交流が2年の期間を終えました。総務課企画財政班で勤務された仲澤周平主任に関川村での思い出を伺いました。



2年間、様々な業務に携わる機会をいただきましたが、特に印象に残っているのは総合戦略の人口ビジョン策定を担当したことです。村の人口は現在約5千8百人ですが40年後には約2千2百人にまで減少すると試算されます。これを何とか頑張つて3千4百人程度を維持したいというのが村の人口ビジョンです。今後の村の指針にもなるため、大変責任を感じたのを覚えています。

私ごとですが、関川村にいた間に娘が生まれ、花火大会ではメッセージ花火をあげました。関川村は私だけではなく家族にとっても特別な存在です。これからも村のイベントには家族で訪れたいと思っていますので、見かけたときにはぜひ声を掛けてください。

短い時間ではありましたが、村民の皆様の温かさにもふれながら大過なく過ごすことができました。関川村での経験を活かし、県へ戻ったあとも村と県の架け橋のような人材になりたいと思っています。ありがとうございました。

学校からのお知らせ

今日は関川小学校からの紹介

6年生の卒業をお祝いしました！

2月24日(金)、「6年生の卒業を祝う会」を行いました。5年生が会の企画や運営を中心に、お世話になった6年生への感謝の気持ちをみんなで表しました。学年のゲームや寄せ書きのプレゼント、くす玉割りなどを行いました。

6年生からは、お礼の気持ちを込めて歌と在校生へのメッセージが披露されました。

最後は、1～5年生と保護者の皆さんでつくったアーチの中を、6年生が退場していきました。

会場が温かい雰囲気包まれた2時間でした。



篠笛の音色に魅了されました！

3月10日(金)と13日(月)、篠笛奏者の田村優子さんをお招きして、5年生を対象とした音楽の鑑賞授業を行いました。

当日は、田村さんが「ふるさと」「もののけ姫」などの曲を篠笛で演奏され、その後、琴や和太鼓などを使った体験学習も行いました。

子どもたちからは、「篠笛の音色がきれいでした」「琴を初めて弾いて感動しました」などの声が聞こえました。篠笛の音色に魅了され、和楽器のよさを味わった時間になりました。



近 良 平さん(大島)が 全国町村議会議長会から表彰



このたび、議会議長を務める近良平さんに全国町村議会議長会から自治功労者表彰が贈られました。

近さんは、昭和62年に村議会議員に初当選されてから、27年の永きにわたり地方自治の進展のために大きな役割を果たされました。また、その間7年以上にわたり議会議長として尽力され、地域の振興発展に寄与貢献されました。

表彰おめでとございました。



力作ぞろいです！
文芸せきかわ(第27号)
を発行

このたび、「文芸せきかわ第27号」が3月20日に発行されました。

「文芸せきかわ」は、村民のみなさんの作品を掲載した文芸誌です。第27号では、歴史的に関川村にかかわった著名な方々の研究や小中学校の児童・生徒の作品も掲載されています。

- ・販売場所 村民会館、小泉屋、せきかわ歴史とみちの館
- ・価 格 1,000円
- ・問い合わせ先 教育課 ☎64-2134